

【第 668 号】

発行日 2026年5月15日

発行責任者 喬木村公民館長

林 司

編集責任者 公民館広報部長

池田 英明

印刷 龍共印刷株式会社

公民館 だんかま

題字：真浄寺書道会 塩澤 莉音

写真：喬木カメラクラブ 宮下 昇 「緑の季節」

就任3ヶ月が過ぎて

「佐藤村長さんに聞きました」

公民館本館編集部企画

5月1日(金)

1月の村長選挙で当選されてから3ヶ月。このたび、大変ご多用にもかかわらず時間をいただき、佐藤村長さんに編集部から質問をさせていただきました。当日は、代表して館長と主事がお伺いしました。佐藤村長さんのお人柄やお考えの一端を少しでもみなさんに伝わればと思います。

紙面の都合上、内容の一部ですがご紹介します。

今、はまっている趣味は

村長 アクアリウムですが、何しろ時間がなくて。忙しくて気力も起きない状態です。

編 お忙しくて大変ですね。アクアリウムというのはどんな？

村長 ネイチャーアクアリウムといって、水草を使って風景を作るんです。水草がメインで、あとはエビかな。水草も手入れを怠ると、水質が変わってみんな溶けちゃう。葉っぱにラムゲが付いてピカピカしている水草もあります。PHが6・5以下じゃないと育たないので、薬品をいれたりしています。

編 きっかけは？

村長 興味をもったきっかけは、娘。喬木祭りですってきた金魚。それを飼い始めて子どもたちが川に魚を捕りにいきたくてか言い出して。水路

立候補に至った思いやタイミングは？

に行ったら、捕れる捕れる。ナマスまで捕れちゃって……。次々とアクアリウムの面白さを語ってくださいました。熱量がすごかった……)

村長 当初、議員になるつもりもなかったのですが、周りから押されて。行政に携わるようになったら面白くなってきて。年4回は後援会の皆さんと情報交換をして、村は今こういうことに取り組んでますとか、やってほしい事ありますとかかの言葉を拾って村政に届けていたのですが、欲がでたというか、言ったことが全て受け入れられるわけでもないし、こうしたいと思うことが難しかったり。それをやるにはやはり村長にならなきゃと思い始めて、そこが一つのタイミングだったと思いま

す。その覚悟ができるまでには時間がかかりましたが。

就任から3ヶ月。現在の心境は？

村長 忙しいなと思ってます。なったばかりで、全てのことから初めてなので、目の前の仕事で精いっぱい。でも、1年間は慣らしで、とは思っていません。自分の思ったことを実行していきます。

今すぐに取り掛かりたい施策は？

村長 すぐに取り組めることは、もう取り組んでいます。給食費・医療費無償化は予算化しました。中原の森林伐採だとかは議員時代から言っていたことで、予算の確保も進めています。あとのことは研究も必要ですし、準備も必要だから、「坪商店街」については担当課に計画するよう指示を出しています。中山間地域の利便性の確保については、今年度デマンドバスの実証実験を行うよう採択されたので準備し、5月に臨時会を開いてこの予算を議決いただいでから進めていきます。

編 住民の方との直接対話



は？

村長 何も予算が要るものでもないの、3月から村長室開放デーをやっています。住民の皆さんに行政を身近に感じてもらうとか、小さい村なので、もっと気楽にいろいろ物事を言ってもらいたい。行政に興味関心をもってもらうきっかけにしたいと、どうしてもやろうと思っていました。

村のコミュニティについて お話を

村長 コロナ禍以降、簡素化

じゃないですけど、事業だとかお祭りの縮小や中止があって、なかなか復活できず…。人口減少やそれぞれの地区で課題がある時代だからこそ、今まで以上に顔が見えお互いに助け合う関係ってというのが必要だと思いますし、そういう意味では、地域のコミュニティがしっかりしていてほしい。もし災害が発生したらやはりその地域の力が強い地区は復旧・復興が早い。これはいろんな地域の災害ボランティアに感じていてるところです。これは認識できるかわからないが、訴え続けていこうと思っています。

やはり、一人一人が、できることは自分たちでやるぞ、っていう意識。その中で行政が手助けできることを助けていきます。行政ができることって限られてて。喬木村がこれから存続していくには一番って言うてもいいくらい重要じゃないかな。

(お話をしてくださる村長さんの目の鋭さを感じたときでした)

スローガンの「ちいさな村だからこそ豊かな暮らし」について

村長 隣の市ほどの規模になると、果たして住民の皆さん、どれだけ満足度がでるか

なと思っていて、大きければ全部の皆さんに行き届くことはなかなかできないと実際見ても思います。でも村は、何かやるにしても、少人数だから伝わりやすい。動きやすい。小さいからこそこんなことが充実している、手厚いんだという魅力を打ち出せていけたらいいなと。物価高騰商品券もこの規模だからできること。半面、助け合わなきゃ駄目だよってところは当然あるんだけど。そこで、意識の面で行政も住民も連携ができる、盛り上がって仕事ができるのかなと思います。それを担うのが公民館でもあるかな。コミュニティ維持ではないけど、行政もやるけど、公民館も一緒にそういうふうな意識が向いていけるようにステップアップしてもらえるとありがたいな。

これまでの公民館との 関わりは？

村長 南分館の体育部長を

2回やったかな。お姉さまたちとバレーボールをやり、村で優勝して郡大会でも優勝して、盛大にやらせてもらって。今年も、副館長さんだけど、公民館活動はやってきています。楽しくできればいいですね。

持続可能な地域づくりについて、 今後のことを言わせて

村長 一番は、「人づくり」

かな。人を育てるといふか、地域を愛せる人づくりもあるだろうし、地域の自然をありがたいて思ってもらえる人とか。そういう人が増えてくると、この地域に生活を続けたいく持続可能な地域とはならない。そこには、当然、利便性もあるし学校教育や産業形態というか、仕事をする場所がなければいかならうし。ここに住んでいてよかったな、充実しているなという思いをまず持つてもらえるように。それが「住み続けたい」であり、「持続可能」かな。それを体験・経験できる環境にしたいなという思いがあり

ます。具体的にどうするかというとまだです。やはり行政と住民の距離があると思っ

ているので。それを少しでも近づけてそれぞれの皆さんが村づくりができる、他人事じゃなくて自分事で考えてもらえようにならないと。そうしないと、愛着だとかも芽生えないし。まずは、行政と一緒に動いてやるぞとかそういう感覚になってもらえる仕掛けを作りたい。これだけ自然に恵まれているのに自然体験や農業体験をせずに大人になっちゃうのはもったいない。それを経験してプラスーCTも使えてって言ったら、都会の子よりよっぽどスキルを持っている。武器は多いと思うんです。

公民館に望むことを

村長 いま、新しくいろんな

ことを考えていただいていると思う。今までやってきたことと同じようにやろうと思っても難しい。全くガラッと変わったやり方っていうのは思いつかないけれど、対象をどこに持っていか、対象別の何かイベントを企画して、それから全世代的に何かできるこ

とはないかな。公民館活動に参加してくれた人たち、そういう人たちってなんか考えがあっけてくれるから、どんなことをやりたいか聞いてもらう中からアイデアを拾っていくとこんなことができるよってなるのかな。

編 公民館では、楽遊塾で氏乗の川で魚つかみして魚をさばいて塩焼き、12月には餅をついて鏡餅をつくる体験をしています。

村長 それっていいですよ。引きつづいて来てくれる人が楽しかったことをアナウンスしてもらって子ども同士が私も僕も行きたいとなってくれたら。

やはり、公民館活動ってその地域で根ざして、地域をまとめる上では大きな力を持つと思ってるんで、なんとかこれを維持しながらまた広げて意味のある楽しいものになればおのずと集まってきてくれるんじゃないかな。

編 ありがとうございます。

(これからの公民館活動に大きなヒントをいただきました。持続可能な村づくりには、公民館活動が大切であること、を再認識しました)

よろしくお願ひします！

歴史民俗資料館長

就任挨拶



青木 隆幸

赤ちゃん、ボールが転がってきた方向を振り返る

阿島の町の生まれです。祖父は畳屋、父は高校勤めの後、村の社協でお世話になりました。

私は、県内の高校を回った後、長野県立歴史館、飯田美博で働きました。飯田藩や満洲移民を研究しています。歴史は「鑑」ともいいます。過去という鏡に今を映し、手本や戒めを得るという意味です。生きるためには前を向かなければいけません。過去の人や出来事と対話しつつ進めという先人の知恵です。

動物の赤ちゃんをずっと座らせ、目の前にボールを転がします。どの赤ちゃんも追いかけてますが、人間の赤ちゃんしかしない行動があります。追いかける前に「瞬、ボールが転がってきた方向を振り

返るのです。「どこから来たのか」、つまり「歴史」を知ろうとするのです。それがわからないと動きだせないのが人間なのです。「あの頃の未来にちゃんと立っているのかな」と自問する時間を持つのも人間だけです。

「この村には、振り返る原点に資料館がある」と言われる施設を目指したいと思えます。村民の皆さんが楽しめる講座や展示を企画していきます。ぜひお出かけ下さい。

こども学遊館長

就任挨拶



城田 純子

本年度より学遊館館長としてお世話になっております城田純子と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。学遊館では、午前中は3歳までの入園前の子どもたちが親子で来て遊んでいます。まさに一歩ずつ成長していく子どもたちのかわいらしさと、それを温かく見守る親御さんの姿

お世話になりました

- 佐藤美恵子 (文化部)
- 松澤 弘美 (文化部)
- 湯澤 直幸 (スポーツ部)

に、穏やかで豊かな時間の流れを感じます。子ども同士、大人同士の親睦の場ともなっており、子育てひろばのイベントにもたくさん参加してくださっており、ありがたいです。今年から社会福祉士が常駐となりました。これからもお子さんとゆったりお出かけください。

午後は、第一小、第二小それぞれの場で、児童が迎えまでの時間を過ごします。芝グラウンドや体育館で遊んだり、室内の遊びを工夫したりして、異年齢の子どもたちで遊んでいます。第二小学校では、5月から放課後子ども教室も始まります。子どもたちの豊かな発達には体験が大きな力になると感じています。遊びやスポーツ、体験・制作活動、子どもたちに教えてくださることなど地域の方からの応援を心よりお待ちしております。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

小・中学校新任職員紹介

新任職員紹介 第一小学校



池田 航平 (5年2組)



熊谷 悠里 (ひまわり1組)



鈴木 翔太 (いちご組)



鈴木ななみ (4年1組)



田中 美保 (LD等通級指導)



竹内花奈子 (1年2組)



松澤 美佳 (初任指導コーディネーター)



武藤 孔史 (3年1組)

新任職員紹介 第二小学校



仲村信治 (理科専科)

福澤 絵里 (養護助教諭)

井上 清枝 (1年担任)

新任職員紹介 第二小学校



後列左から、矢崎慎也、山本智裕、本田浩一、岩崎宏紀
前列左から、田中佑承、中島菜摘、北林亮子

激励会 (空手・水泳) を行いました

空手道の第45回全国高校選抜大会(3月23~26日開催、松本市)に出場される飯田高校空手班の角野颯大さん(現2年)と飯田風越高校空手部の内山桜来さん(現3年)へ村及び村体育協会から激励会が行われました。飯田高校は、10月の県新人体育大会で男子団体形・組手ともに2位の成績を収め、飯田風越高校は、県大会で団体形3位、北信越大会で団体形5位入賞を果たし、全国大会の出場を果たしました。

全国大会では両校とも初戦敗退でしたが、大舞台での経験を経たお一人の成長が楽しみです。今後のご健闘をお祈りいたします。

舟登京介さん(喬木第一小6年)がフィットネスクラブFLATで行われた「チャレンジ記録会」において4×50メートルモデルレーサーで、全国大会出場要件の標準記録を上回る記録を樹立し、第48回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会(3月26~30日開催・東京)に出場を果たしました。激励会では、村及び村体育協会から激励金が授与されました。

舟登さんは、全国大会出場の常連。今後のご健闘をお祈りいたします。



第21回 長野県市町村対抗小学生駅伝競走大会

4月25日(土)
 やまびこドーム周辺道路発着
 (1.2km×4区間)
 小学生の部55位(参加62チーム中)

出場選手

- 1区(1.2km)
 女子 山越 穂乃 喬木第一4年
- 2区(1.2km)
 男子 林 大斗 喬木第一小6年
- 3区(1.2km)
 女子 久保田 純 喬木第一小4年
- 4区(1.2km)
 男子 中村 莞爾 喬木第一小6年

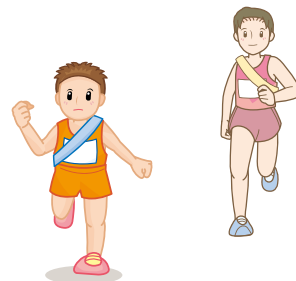


第35回 長野県市町村対抗駅伝競走大会

4月25日(土)
 やまびこドーム周辺発着
 (9区間 計39.5km)
 喬木村 2時間22分40秒
 32位(参加49チーム中)

出場選手

- 1区(2.7km) 中学生女子 市瀬 捺
- 2区(2.6km) 中学生男子 福澤 季音
- 3区(5.3km) 一般男子 吉津 貴義
- 4区(6.5km) 一般男子 伊藤 洸介
- 5区(5.3km) 一般男子 伊藤 満
- 6区(2.7km) 一般女子 ドウパード 里奈
- 7区(2.6km) 中学生男子 塩澤 晴
- 8区(6.5km) 一般男子 筒井 崇文
- 9区(5.3km) 一般男子 伊東 俊



令和8年度 分館長の皆様を紹介します!



こんな公民館に…



明るく、仲良く
北公民館
市瀬 政富

楽しい活動
田上川公民館
後藤 清数



明るくまとまりある
寺の前公民館
市瀬 朝孝

つながりをつくる
上平公民館
内山 孝之



老いも若きも一つになって
帰牛原公民館
大平 和孝

みんなが集まる
伊久間公民館
吉川 幸雄



“アットホーム”な
郭公民館
森山 康晴

楽しく参加できる
富田公民館
木下 守夫



一年滞りなく
町公民館
宮下 修

公民館活動維持を目指す
大和知公民館
酒井 豊美



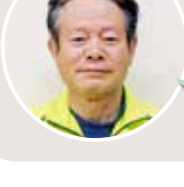
やる気、喜び
南公民館
内山 岳彦

区民全員参加楽しく
氏乗公民館
元島 政好



和気あいあい
馬場公民館
井原 義文

おだやかな1年に
大島公民館
山下 庄一



つながる
両平公民館
宮下 正吾

無理なく楽しい活動
加々須公民館
大石 修



たかぎ短歌会 卯月歌会 詠草

河津桜家族で出かけた遠山郷未だ若かった十五年前

田中 妙子

彼岸入り我的手料理唐揚げで想い出語る孫娘たち

木下 寿子

いく日も待ちたる雨は未明より月食の日に容赦なく降る

元島 康子

短歌会の友等と向かう遠山の河津桜に思いを馳せる

内山 和子

期待せし河津桜は葉桜で「かぐらの湯」にて暫し癒さる

内山 貴子

山深き遠山郷へバスの旅こんもり咲ける山桜の紅

小椋 りよ

急峻な谷底に居並ぶ桜の木河津サクラは既に葉桜

市瀬 准子

春彼岸あわてんぼうの花の精盛り見ぬ間に河津桜散る

塩沢真由美

名の高き河津桜の花季に会えなきことのちと口惜し

木林 睦枝

遠山へ短歌会の人等と桜見に和氣藹々と折り弁当開く

和田 京子

過ぎたる花の盛りを恨むまじ同じ我らも姥桜の群れ

福澤 亀人

喬木村俳句会 卯月句会 詠草

山笑ふ里の祭のあばれ獅子
口角を上げよと言ひて春の雨

木下 瑞恵

涙して逃げる幼子春の獅子

矢澤恵美子

希望の子桜吹雪の通学路

松島みのり

時超えて秘仏眼光春祭

宮島 高枝

大杉の抱かれ祈る木の芽風(南信濃龍淵寺にて)

村山たか子

山桜童話の世界よみがへり

宮島 高枝

逢橋の郷愁さそふ春祭(阿島逢橋にて)

松葉 孝子

春耕の小鳥舞ひ降り朝餉かな

市橋 ヨリ

五千キロつがいの燕軒下に

吉川てる子

口下手な先生が好き土筆坊

吉川てる子

ひとつの灯囲む家族や朧月

市橋 ヨリ

おいおいと父の真似する三歳児

市橋 ヨリ

師の声や小諸なる歌春の風

市橋 ヨリ

散る花の一時激し鳥飛びぬ

吉川てる子

九条は生きる希望や春の月

吉川てる子



新公民館主事 瀧浪 勝幸



前公民館主事 市瀬 直紀

1年間という短い期間ではございましたが、公民館主事としてお世話になりました。公民館行事等の運営にあたっては、公民館本館の部員さんを始め、分館役員の方、実行委員会の皆様には大変お世話になりました。休日の行事等も多く、正直大変なところもありましたが、公民館に関わる皆様を持つ学びの力で地域をより良いものにしようにとする姿勢を間近で見させていただき改めて公民館活動の大切さを実感いたしました。本当にお世話になりました。

お知らせ

楽遊塾のお知らせ 川遊びイベント

日にち：7月18日(土)
詳細はHP等でお知らせします。

第1回公民館平和学習会

日時：令和8年6月27日(土)
場所：福祉センター2階多目的ホール

資料館講座のご案内

○「古文書、はじめの一步」

開催日：原則第1水曜日(毎月)
初回は6月3日(水)
時間：18時30分～20時
場所：喬木村福祉センター
講師：青木 隆幸(歴史民俗資料館長)

○「学び直し日本近現代史」

開催日：原則第3水曜日(毎月)
初回は6月17日(水)
時間：18時30分～20時
場所：喬木村福祉センター
講師：青木 隆幸(歴史民俗資料館長)

いずれの講座も申し込みが必要です。
申し込み・詳細のお問い合わせは喬木村教育委員会(33-2002まで)

お問合せ 喬木村公民館 0265-33-2002

右写真は、3月30日の役場のソメイヨシノ。例年より10日ほど満開が早かった。4月は、サクラムもモモもナシもチューリップもみんな一気に咲いて、短い時間のなかで散っていった感がある。



3月30日のソメイヨシノ

そこで心配なのは、今夏の暑さと水不足。長期予報によると、例年より気温が高くなる確率が60%。低くなる確率は10%だそう。

また、2月に水不足が言われたが、雪の回廊で有名な志賀草津高原ルートでは、4月23日に高さ3mの雪の壁が見られた。例年は5mだそう。今冬の積雪の少なさがある。乗鞍高原でも同様だそう。暑さに加え、水の心配もある。

昨年(2025年)の公民館報5月号では、「村内桜の開花レポート」として見ごろの月日を紹介した。中学校前のソメイヨシノは4月9日だった。今年(2026年)はなんと早く咲いたものだ。これは全国的な事実で、北海道札幌でも満開が4月20日で例年よりやはり10日ほど早かった。

「行く春や鳥啼き魚の目は涙」芭蕉。「行く春の庭に熊手と草蓐」星野立子、などの句にみられる春の終わりや別れを惜しんだり、次の準備をしたりするような心持ちや時間のうつろいを感じる暇もなく、素早く春は通り過ぎた。温暖化は、年々激しさを増す。そんなことを意に介さず自国のことばかり考える国もある。どうしたものか。

あのとさ このとさ

公民館長



今回の表紙

題字

真浄寺書道会 塩澤 莉音さん(飯田高校2年)

中学で1度やめてしまいましたが、小学校・高校合わせて約4年習字を習っています。高校では書道班に入り、コンクールだけでなく、書道パフォーマンスもやっています。毎日書道と向き合って楽しく活動しています。これからもどんどん上達していけるよう頑張ります。



写真

喬木カメラクラブ 宮下 昇さん

太い木々の間から差し込む逆光に照らされて緑葉がきれいに見れてすがすがしかった様子を切り取りました。



編集後記

この時期お義母さんのためのことわらびの煮物が懐かしくなる。煮干しでだしを取り、わらびの硬さもちょうど良かった。炊き上がるとたけのこを指でつまんでよく食べた。
私が同じ味にと思っても何度かわらびのアク抜きに失敗した。スジっぽかったり、ぐによくよかったです。アク抜きには藁の灰が一番いいと気づき、今は炊き上がると息子が指でたけのこをつまんで食べている。

ご意見・ご感想 お待ちしております

館報を読んで思ったこと、感想をお寄せください。寄稿も大歓迎です！
喬木村の公民館報をみんなで作っていきましょう！

☎ 0265-33-2002
mail : syakai@vill.takagi.lg.jp